

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語演習B	
科目基礎情報							
科目番号	124			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	環境工学専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	『Can't Stop Writing』、Manabu Miyata ほか著（三修社）						
担当教員	板谷 洋一郎						
到達目標							
・ 大学生レベルの英文ライティングを学び、文字によるコミュニケーション能力を向上させることができる。 ・ モデルの読解やリスニングを通して、パラグラフや全体の構造が理解できる(リーディング・リスニング)。 ・ 本文(英文)で取り上げられている文法事項・表現が理解できる。 ・ 論理構成を意識したライティングができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		モデルの読解やリスニングをすることで、パラグラフや全体の構造をよく理解することができる。		モデルの読解やリスニングをすることで、パラグラフや全体の構造をある程度理解することができる。		モデルの読解やリスニングをすることで、パラグラフや全体の構造を理解することができない。	
評価項目2		テキストで取り上げられている文法事項・表現がよく理解できる。		テキストで取り上げられている文法事項・表現がある程度理解できる。		テキストで取り上げられている文法事項・表現が理解できない。	
評価項目3		手順に従って、まとまりのあるライティングができる。		手順に従って、まとまりのあるライティングがある程度できる。		手順に従って、まとまりのあるライティングができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		身近なテーマについて英語で自己表現するための手順を段階的に学ぶことで、論理構成を意識したライティングの練習をする。 最初は短めのエッセイを書き、徐々に長いものを書く練習をし、最終的には標準的な長さのエッセイが書けるようにする。					
授業の進め方・方法		毎回、大学生の主人公が書いた英文やスピーチに基づくタスク、自分自身について答える問い、ペアワークなどに取り組んでもらう。これらのタスクをこなした上で、各ユニットの最終課題であるライティングに取り組んでもらう。随時プリントを配布する。					
注意点		授業に積極的に取り組み、自らの英語力向上に努めること。そのために、予習・復習をしっかりと行うこと。本科目は、授業時間30時間に加えて、自学自習時間15時間が授業の前後に必要なとなる。具体的な学修内容は、授業計画を参考に、各週、学習内容の予習に30分～60分、復習に30分～60分を目安に予習・復習を行うこと。解説や例文が充実している電子辞書または紙の辞書を毎回持参すること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス・Warm-up Unit		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、先週の金曜日についてライティングができる。		
		2週	Unit1 Self-Introduction		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、英語で自己紹介を書くことができる。		
		3週	Unit2 My College		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、自分の大学や学生生活についてライティングができる。		
		4週	Unit3 Family and Hometown		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、英語で家族や故郷の紹介文を書くことができる。		
		5週	Unit4 Pastimes and Hobbies		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、自分の趣味についてライティングができる。		
		6週	Unit5 Weekends		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、週末の過ごし方についてライティングができる。		
		7週	Unit6 Friends		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、英語で友人の紹介文を書くことができる。		
		8週	Unit7 Highschool Days		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、高校(または中学)時代についてライティングができる。		
	4thQ	9週	Unit8 Education in Japan		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、日本の学校教育についてライティングができる。		
		10週	Unit9 Love and Marriage		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、恋愛・結婚についてライティングができる。		
		11週	Unit10 College Life (1)		モデルの構造が理解できる、提示される語い・表現が理解できる、大学生のアルバイトについてライティングができる。		

		12週	Unit10 College Life (2)	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、大学の9月入学あるいは学生結婚についてライティングができる。
		13週	Unit11Family Life	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、女性の仕事と育児についてライティングができる。
		14週	Unit11 Social Issues	モデルの構造が理解できる、紹介されているライティング向けの語い・表現が理解できる、死刑制度あるいは喫煙についてライティングができる。
		15週	レポート執筆に向けた総復習、Q&A セッション	既習学習事項が理解でき、その振り返りができる。
		16週	レポート提出	既習学習事項が理解でき、その応用ができる。

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0